



## ◆12月の歳時記◆

### 素顔明かした「伊達直人」(タイガーマスク)

12月になると、毎年、「タイガーマスク」から児童養護施設にランドセルが届いたというホッとなニュースが流れてきます。何年もの間、人気漫画「タイガーマスク」の主人公、伊達直人を名乗り、ランドセルを送り続けていた男性が7年前、ついにその素顔を明かしました。

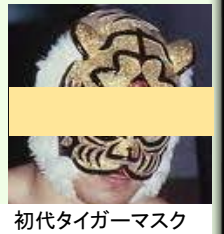
漫画のタイガーマスクは、新日本プロレスでプロレスラーとして誕生し今も引き継がれていますが、後楽園ホールで行われた初代タイガーマスク、佐山聡の記念イベントにおける当時の様子を産経新聞が興奮気味に記しています。(以下抜粋)

「本物の伊達直人が姿を現します」。初代タイガーマスクから紹介され一人の男性がリングに立った。前橋市在住の河村正剛さん(43)だ。場内では「伊達直人！伊達直人！」とコールや拍手がわき起こる。

マイクを手にした河村さんは、後楽園ホールを埋めた観客に対し、「子供は虐待されるためではなく抱きしめられるため、涙を流すためではなく周りの人を笑顔にするために生まれてきた」と力強く訴えた。

19年前から児童養護施設などの支援に取り組んできた河村さん。幼少時に母親と死別するなど家庭環境に恵まれず、ランドセルがなく、手提げで通学した過去もある。漫画の中のヒーロー「タイガーマスク」に伊達直人は、施設で育ち、覆面レスラーとなった後、悪役相手に活躍し、出身施設にファイトマネーを寄付していた。その恵まれない子供への姿勢に感銘を受け、自身の思いと重なった。

「自分の過去は振り返っても取り戻せない。でも子供たちの未来は変えられる。自分の昨日より、子供たちの明日だ」。そう思っ  
て支援を続けてきたという。隠されていた素顔はプロレスラーでも大金持ちでもない、どこにでもいる一般人だった。その後、全国に「タイガーマスク現象」が起こり、同様の支援の輪が広がっていく。「**抱きしめる範囲**」といふ。まずは自分の家族を愛して抱きしめてほしい。皆がそうすれば、あぶれる子供はいなくなる」と感涙



初代タイガーマスク

## シニア版、読書を快適にするグッズ

読書好きの方が、読みたい本はあるけれど、「目が悪くて疲れる」というお声をよく聴きます。そんな方々のために、シニアのための読書グッズが出ているので一部ご紹介したいと思います。

●**タッチフォーカス**(三井化学製造のメガネ)  
センサーボタンをタッチすることで、リーディングゾーンを簡単に切り替えることができるので、いちいち眼鏡本体を取り替える必要がなく、読書に没頭することができる。フレームやカラーはチョイスできオシャレな大人を演出。センサーをオフにして、一日掛けたままでも快適に過ごすことができる

●**さばえルーペ**(有名な鯖江市製造の職人用眼鏡)  
羽根のように軽く「天使の掛け心地」と評されている。最大の特長は、耳ではなく眉の骨で支えて使うという新構造のルーペというところ。眼鏡を掛けた上からでも使用することが可能で、跳ね上げて使うこともできるので邪魔にならない。

●**キンドル**(電子書籍)  
画面を操作することで文字の大きさを変えたり、画面を明るくすることもできる。普通のタブレットより軽く文字も拡大でき、反射しにくい。登録料はいるが無料で読める本もある。

## 令和5年度

# パストラルシニア大学

今年度も多彩な講師をお迎えし、充実した内容でお届けしています。講師陣からその受講姿勢を絶賛されていた皆さま。今年も皆勤賞めざし頑張りましょう。

- \* **毎回フロントにお申込み下さい(席に限りがあります)**
- \* **当日は、学生証も忘れずに!**

## 第7回

## 地盤を知る!「尼崎周辺の地盤」

- ・日時: **12月22日(金) 14時~15時**
- ・場所: **多目的ホール**
- ・講師: **地盤工学会関西支部**

大阪公立大学教授 **大島明彦先生**

敷居が高そうなテーマですが、その面白さに皆様、夢中になって受講した前回の出前講座。自分の生活圏の地盤を知るって本当に面白いのです!この機会に是非、ご参加下さい。